AeroEdge PRESS RELEASE

2023年9月22日

各　位

会社名　　ＡｅｒｏＥｄｇｅ株式会社
代表者名　代表取締役社長 兼 執行役員 CEO 森西 淳
（コード番号：7409　東証グロース）

AeroEdge の ESG 活動：
エアバス・ジャパンによる高専生を対象とした教育プログラム「Airbus Aviation Professionals Project #3」で講師として登壇

AeroEdge株式会社（本社：栃木県足利市、代表取締役社長：森西淳、証券コード：7409）は、2023年9月20日にエアバス・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、社長兼CEO：ステファン・ジヌー）による、高等専門学校（以下、高専）の学生を対象とした教育プログラム「Airbus Aviation Professionals Project #3」において、当社技術戦略室長 井本が講師として登壇した事をお知らせします。

Airbus Aviation Professionals Project は、エアバス・ジャパンにより実施される人材育成プログラムであり、若い人材に対して航空の世界や業務の実際についての知識を深めるきっかけを作ることで、航空機産業に対する認知度を向上し、航空人材の裾野を広げることを目的としています。神戸市立工業高等専門学校 成長産業技術者育成プログラム航空宇宙コース（GIEEP）の3年生および4年生と、明石工業高等専門学校から計24名が受講しました。プログラム中では、航空産業に関わるメーカー及びエアラインからの業務紹介や、エアライン会社経営シミュレーションを用いたワークショップが行われました。

当社からは、技術戦略室長 井本が講師として参加し、受講生と同じ高専出身者として大学院で得た学びや、大手重工メーカーにおいて防衛産業に従事した経験、当社で取り組んでいる積層造形（Additive Manufacturing、いわゆる3Dプリンタ）など新たな技術による事業開発の挑戦について紹介しました。

当社 は ESG 活動に積極的に取り組むことで社会的責任を果たしていきたいと考えており、事業活動を通じたESG への取り組みはもちろんのこと、事業活動外でも人材育成を始めとするESGに関する取り組みを進めています。その一環として、近隣の高校生に対するインターンシップを実施しており、今後はこれを連携先大学へ発展させることを計画していますが、この度、グローバルトップの航空機メーカーの一つであるエアバスとの連携深化の一環として、航空産業の人材育成に貢献すべく本プログラムへ参加しました。

今後もESG活動の一環として、航空機産業、技術の高度化及び産業の活性化を担う人材の育成に係る活動を通じ、企業の社会的責任を果たしていきます。

＊＊＊

AeroEdge（エアロエッジ）は、世界の航空業界でナンバーワンを追求する技術集団です。栃木県足利市に本拠を置く 2016 年創業の小さな企業が、航空機エンジン製造大手のフランス企業（Safran Aircraft Engines 社）から次世代航空機用エンジン「LEAP」に搭載されるタービンブレードの国内初の長期量産サプライヤーに選定され、現在その生産体制の構築を加速しています。AeroEdge は製造業に軸足を置きながら環境の変化に迅速に対応し、常にリーディングエッジであり続けること、一人ひとりが自主性・創造性を発揮し、他人がやっていない新しいことに果敢に取り組み、新しい価値を創出すること、社会と人々の幸せに寄与することを使命に「ゼロからイチを創る」活動を推進しています。

https://aeroedge.co.jp/

本件に関するお問い合わせ先：
AeroEdge 株式会社　コーポレート本部　担当：塚越
電話：0284-22-3263（内線:204）　メール：　ae-pr@aeroedge.co.jp